



国際卓球連盟
オリンピックおよびパラリンピック本部、事務局

Ref. 2020_rc_0033
Eメールのみで送付

2020年3月1日(日)

TO: ITTF 所属協会
CC: 国際パラリンピック委員会

題名: 東京 2020 パラリンピック大会 ITTF 大会クレジットシステム

親愛なる所属協会会長および事務局長の皆さま、

先日こちらからお送りした Ref. 2020_rc_0016 と 2020_rc_0029 のお知らせの続報といたしまして、以下のように最新情報についてご案内いたします:

最近の新型コロナウイルス(COVID-19)の大流行によって予測不可能な状況となっており、それによって ITTF は中国障がい者スポーツ協会(CASPD)およびイタリア卓球協会(FITET)と合意の上で、3月に開催予定だった ITTF ファクター40、杭州(中国)で開催の中国パラ卓球オープン、と ITTF ファクター20、リニャーノ(イタリア)開催のリニャーノマスターズオープン 2020 を延期することを余儀なくされました。

同様に、IWAS 世界大会の組織委員会も2月にタイのナコーンラーチャシーマで開催予定だった IWAS 世界大会 2020 (ファクター20)を延期する決定をしました。

東京 2020 パラリンピック大会、大会クレジットシステム(TGS)の期間が、2019年1月1日から2020年3月31日であり、この期間中におけるファクター40の大会への参加の機会が限られたものであることおよび15か月間の認定期間中に競技ができる全試合の機会を鑑みて、国際卓球連盟は、国際パラリンピック委員会および国際卓球連盟選手委員会と協議の上、全ての選手について、大会クレジットシステムの基準 A に達している必要がないという決定をしました。

そのため、東京 2020 パラリンピック大会の卓球大会に参加する出場権を得るには、選手は基準 A と B の両方ではなく、基準 B だけに達していればよいということになります。

敬具



Raul Calin
事務局長

Pablo Perez
パラ卓球大会 & クラシフィケーションマネージャー